

No. 135 昭和47年11月15日

長州志士富永有隣と土佐

(13)

県文化財専門委員

橋詰延寿

今一〇〇〇
◇◇の軸

大伴恵彦は富永有隣の別名である。これについては初期に使用したもので山口県の研究家玉木俊雄さんは、田布地方史の中に次の通り言っている。

「富永有隣は、往昔大伴氏を称え、石見國（島根県）に住し近世に至って周防に

田布地方史の中に入り、後毛利氏により君谷富永を称していた

が、足利義詮の時、出羽上

下郷地頭職となり遂に出羽に復し

石川邑智郡出羽二山城（現

在瑞穂町出羽江川上流出出

石川に沿う）に在った豪族

の旗下に入り、後毛利氏によ

りて、足利義詮の時、出羽上

下郷地頭職となり遂に出羽に復し

元禄末頃再び出羽に復し

中世以来文書多数を伝

う」とある。これが富永有隣の先祖に当たることが次

のことである。古今無比の

政治家であり、かつ忠節の

として有名である。孔明

ことで考証せられる。

すなわち、「有隣が諸隊

時代の銳武隊名簿に出羽六

事、富永有隣の記録があ

り、土佐潜伏時代にもい

た君谷一郎の変名がこれ

に符節する」とある。

錦織邸のものに大伴恵彦を使つたのは大伴の流れ

彦を使つたのは大伴の流れ

であるからである。なお土佐八年間の潜伏中の変名改

は署名は、有隣富永有隣

は勿論、履着君谷一郎

河辺八吉等である。ま

だ出てくるかも知れない

が。

錦織妻子さんのうちで押

見したいま一つの軸も富永

有隣のものである。これは

次通り履着の雅号である

世間不知着良

伏櫪千里方夫望

右顎千萬武侯圖

これは諸葛武侯の図に赴

破る。劉備はその後も諸葛

亮の経世済民の至誠はこつ

て、荆州（湖北省）から隆中

が、足利義詮の時、出羽上

下郷地頭職となり遂に出羽に復し

元禄末頃再び出羽に復し

中世以来文書多数を伝

う」とある。これが富永有隣の先祖に当たることが次

のことである。古今無比の

政治家であり、かつ忠節の

として有名である。孔明

ことで考証せられる。

すなわち、「有隣が諸隊

時代の銳武隊名簿に出羽六

事、富永有隣の記録があ

り、土佐潜伏時代にもい

た君谷一郎の変名がこれ

に符節する」とある。

錦織邸のものに大伴恵彦

を使つたのは大伴の流れ

であるからである。なお土

佐八年間の潜伏中の変名改

は署名は、有隣富永有隣

は勿論、履着君谷一郎

河辺八吉等である。ま

だ出てくるかも知れない

が。

錦織妻子さんのうちで押

見したいま一つの軸も富永

有隣のものである。これは

次通り履着の雅号である

世間不知着良

伏櫪千里方夫望

右顎千萬武侯圖

これは諸葛武侯の図に赴

破る。劉備はその後も諸葛

亮の経世済民の至誠はこつ

て、荆州（湖北省）から隆中

が、足利義詮の時、出羽上

下郷地頭職となり遂に出羽に復し

元禄末頃再び出羽に復し

中世以来文書多数を伝

う」とある。これが富永有隣の先祖に当たることが次

のことである。古今無比の

政治家であり、かつ忠節の

として有名である。孔明

ことで考証せられる。

すなわち、「有隣が諸隊

時代の銳武隊名簿に出羽六

事、富永有隣の記録があ

り、土佐潜伏時代にもい

た君谷一郎の変名がこれ

に符節する」とある。

錦織邸のものに大伴恵彦

を使つたのは大伴の流れ

であるからである。なお土

佐八年間の潜伏中の変名改

は署名は、有隣富永有隣

は勿論、履着君谷一郎

河辺八吉等である。ま

だ出てくるかも知れない

が。

錦織妻子さんのうちで押

見したいま一つの軸も富永

有隣のものである。これは

次通り履着の雅号である

世間不知着良

伏櫪千里方夫望

右顎千萬武侯圖

これは諸葛武侯の図に赴

破る。劉備はその後も諸葛

亮の経世済民の至誠はこつ

て、荆州（湖北省）から隆中

が、足利義詮の時、出羽上

下郷地頭職となり遂に出羽に復し

元禄末頃再び出羽に復し

中世以来文書多数を伝

う」とある。これが富永有隣の先祖に当たることが次

のことである。古今無比の

政治家であり、かつ忠節の

として有名である。孔明

ことで考証せられる。

すなわち、「有隣が諸隊

時代の銳武隊名簿に出羽六

事、富永有隣の記録があ

り、土佐潜伏時代にもい

た君谷一郎の変名がこれ

に符節する」とある。

錦織邸のものに大伴恵彦

を使つたのは大伴の流れ

であるからである。なお土

佐八年間の潜伏中の変名改

は署名は、有隣富永有隣

は勿論、履着君谷一郎

河辺八吉等である。ま

だ出てくるかも知れない

が。

錦織妻子さんのうちで押

見したいま一つの軸も富永

有隣のものである。これは

次通り履着の雅号である

世間不知着良

伏櫪千里方夫望

右顎千萬武侯圖

これは諸葛武侯の図に赴

破る。劉備はその後も諸葛

亮の経世済民の至誠はこつ

て、荆州（湖北省）から隆中

が、足利義詮の時、出羽上

下郷地頭職となり遂に出羽に復し

元禄末頃再び出羽に復し

中世以来文書多数を伝

う」とある。これが富永有隣の先祖に当たることが次

のことである。古今無比の

政治家であり、かつ忠節の

として有名である。孔明

ことで考証せられる。

すなわち、「有隣が諸隊

時代の銳武隊名簿に出羽六

事、富永有隣の記録があ

り、土佐潜伏時代にもい

た君谷一郎の変名がこれ

に符節する」とある。

錦織邸のものに大伴恵彦

を使つたのは大伴の流れ</